

From Malaysia to Tottori, Japan

Terima Kasih!!



No. 01

2016年8月
クアラルンプール日本人学校
中村仁・市原史明

鳥取のみなさん、こんにちは。私たちはこの4月から在マレーシア日本国大使館附属クアラルンプール日本人学校に派遣された、中村仁（派遣前鳥取大学附属中学校勤務）、市原史明（派遣前境港市立第一中学校勤務）です。現地の様子を少しだけですがお伝えしようと思いい、このような通信を作成しました。タイトルの Terima kasih!!は、マレー語で「ありがとう」という意味です。発音の仕方はぜひ調べてみてくださいね。

今回は、私たちが勤める日本人学校のことを紹介します。

「日本人学校」は世界に89校あります。日本人学校では日本の小・中学校と同じ授業を行います。それは、**海外に住んでいる日本人の子どもたちが、将来日本に帰国したときに、みな**

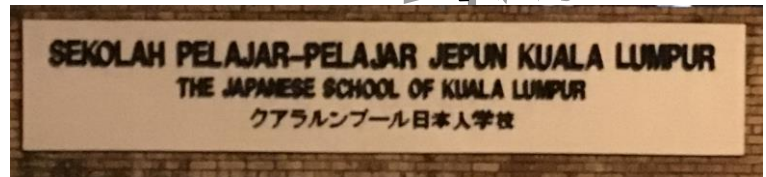
さんと同じように授業を受けられるように、という願いのもとでつくられたからです。だから通っている児童・生徒はみんな日本人です。おうちの方の仕事の関係で家族そろって海外に滞在している人、ご両親のどちらかが日本人でクアラルンプール周辺に住んでいる人などが通っています。私たちが勤めるクアラルンプール日本人学校は、幼稚部・小学部・中学部があり、全校児童生徒で**約800人の子どもたち**が毎日元気に通っています。しかし、海外赴任のご家族が多いので、子どもたちの入れ替わり（転出入）がたくさんあります。マレーシア在住が長い児童・生徒もいますし、海外を転々としていて、日本での生活経験がほとんどない児童・生徒もいます。

職員は校長先生、園長先生、教頭先生をはじめ、私たち教員、事務員さん、メンテナンススタッフさん、ガードさん（ともに地元の方）など合わせて**約100人のスタッフ**が働いています。廊下を歩けば必ず誰かとすれ違うような毎日を、広い広い校舎で過ごしています。

1学期は4月14日から7月27日までです。これまでに通常の授業のほかに運動会（6月）、現地の小中学生との国際交流会（7月）といった学校行事がありました。

また、今年度は創立50周年の節目を迎え、6月24日には落語家の立川志の輔師匠が来校され、小学部5年生から中学部3年生までの児童生徒に落語を披露してくださいました。

クアラルンプール日本人学校って？



クアラランフル日本人学校を写真で紹介



子どもたちはスクールバスで通学します。安全面を考えると、徒歩で通う児童・生徒はいません。バス以外は車の送迎で通学します。とてもたくさんのバスがバスベイに停車します。バスの発車時刻は16:30。先生たちみんなで毎日見送りをしています。



中学部校舎です。校舎は3階建てです。廊下は壁がありません。

各校舎をつなぐ長い廊下。100m以上あります。職員室から教室が遠いです…。

幼稚部・小学部校舎です。年少から中3までが同じ空間にいます



サルが学校を訪れることもしばしば…。

中学部プールは50mあります。ずっと夏なので、一年中、毎週水泳の授業があります。奥はグラウンドです。



イスラム教のスタッフさんがお祈りをするための部屋です